

まちの話題

市内の話題を紹介

県内初の団体認証

JAいわて花巻がJGAPを取得

当市と花巻市でネギを栽培する生産者の団体「JAいわて花巻野菜部会GAP研究会」の会員らは市本庁舎を訪れ、県内初となるJGAP団体認証の取得を八重樫市長に報告しました。JGAPとは国内農業の持続可能な取り組みを目指し、品質管理などを証明する制度。同団体は収穫時期を追跡調査できるシステムの構築などに取り組み、今年1月にJGAPを取得しました。

稲瀬町で生産を行う上野春和さん(35歳)は「ネギの一大生産地を目指したい」と展望を語りました。



2/9



初開催！恐竜になりきり全力疾走 ティラノサウルスレース

2023ランフェスカみ〜冬の陣〜ティラノサウルスレースは、北上市北部交流館で行われました。幼獣の部、成獣の部(オス・メス)合わせて39体が参加。恐竜たちはゴールを目指して全速力で駆け抜け、会場からは大きな声援が送られました。

成獣の部(メス)で1位に輝いた阿部美由紀さん(41歳・立花)は「すごく楽しかった。子どもみたいな気持ちで楽しく走ることができた」と満面の笑みを浮かべました。

2/12

またnote.市民ライターレポート



この記事のライターは

齊藤 比佐代さん

和賀町横川目で3人の子育てをする市民ライター2年生。北上市を楽しみ尽くせる発信がしたい。

「ママ リフレッシュ方法」と検索したことがある、子育て中の齊藤です。安心して子どもを預けられる制度「ファミリー・サポート」を体験したので、ご紹介します。

この制度は親自身がリフレッシュしたいときや用事を済ませたいときに、子どもを預けられるサービス。まずはhoKkoで会員登録を済ませ、利用を申し込みます。後日、預かってくれる会員さんのお宅で事前打ち合わせです。連れて行った子どもはおもちゃですぐに遊び始め、大丈夫そう。当日の持ち物など丁寧な説明を受け、気になる点の質問もでき、安心しました。

利用当日、私は2時間にわたって買い物などをすることができ、預かってもらった1番下の子どもは楽しかったようで満足です。最後に利用料金をお支払いして預かりは終了。子育て＝大変を、「楽しい」に変えられる制度だと私は思いました。



(上)hoKkoでの登録は、私の質問が多かったので約30分かかりました(下)預かり日当日。預かってくれる人の家へうれしそうに入っていました



レポートの全文は北上市の都市ブランドサイト「きたかみリズム」をご覧ください。

きたかみE&Beエフエムです



開局5周年特別イベントを昨年7月29日、展勝地レストハウス前の特設会場で行いました。猛暑の中、多くの皆さんにお越しいただきました。



※本コーナーは令和6年度から輪番コーナーへ移行します。

きたかみE&Beエフエムは、地域情報と災害情報を市民の皆さんへ伝えるため、平成30年に開局しました。開局時よりも番組数、パーソナリティ数、リスナー数が増え、「参加することでもっと楽しくなる」をモットーに日々の番組作りを行っています。

ラジオはパーソナリティが情報を伝えるだけでなく、番組を聴いてくださるリスナーがいることで成り立っています。さまざまな形で番組に参加し、つながりが生まれることで、災害発生時や予想時にもラジオの力が発揮されるはず。『ご近所付き合い』があるからこそ、日常生活で困ったときには助け合える。ラジオもそんな身近な存在でありたいと思っています。今年7月30日に開局から6年を迎えるきたかみE&Beエフエム。これからも皆さんに寄り添い、いざというときには情報と共に安心をお届けします。

パーソナリティ紹介

阿部 直大さん

阿部直大のNEW STYLE(月曜日～水曜日12時～15時)、LISTEN!!(金曜日16時～20時)などを担当。

元・人権擁護委員の武田さん 法務大臣感謝状贈呈

平成27年1月から人権擁護委員を3期9年務めた武田徹さん(76歳・和賀町煤孫)が、市本庁舎で法務大臣感謝状を伝達されました。同委員は国民の基本的な人権が侵害されないよう、法務大臣からの委嘱を受けて相談を受け付ける役割を担い、武田さんは多様な相談に柔軟に応えてきました。

「今後は経験を生かし地域活動も頑張りたい」と語りました。



2/9

雪中でも本番ながら 春季災害防御訓練

令和6年春季災害防御訓練は、市和賀庁舎周辺で行われました。市消防団約250人と北上地区消防組合20人が参加。建物から出火し、現場は断水という想定で実施されました。付近の川などから揚水して消火にあたったほか、ドローンを用いた情報収集も行いました。高橋信博団長は訓示で「今日の訓練を今後の活動に生かすように」と述べました。



3/3

華やかにひな祭りを彩る 煤孫吊るしびな祭り

煤孫吊るしびな祭りは、煤孫1区自治公民館で行われました。同地区の手芸愛好家が丁寧に縫い上げてきた吊るしびなは、これまで同館で展示されてきましたが、今回は煤孫1区自治会が祭りとして初主催。愛らしい作品に来場者は魅了されていました。

高橋杏奈さん(いわさき小6年)は「とてもきれいだった」と目を輝かせました。



2/11
-3/17